第 14 期 練馬区健康推進協議会（第 3 回）

1 開催日時

令和 7 年 3 月 21 日（金）午後 3 時～午後 3 時 40 分

2 開催場所

練馬区役所西庁舎 4 階 全員協議会室

3 出席者

中村秀一、古賀信憲、岩橋美智子、河原啓子、鈴木明、高桑力也、刀根洋子、佐藤じゅんや、西田まちこ、水上明子、やない克子、池尻成二、伊藤大介、上原正美、輿水淳、後藤正臣、吉良集、本橋廣美、井口正樹、佐藤公明、山路健次

4 公開の可否

可

5 傍聴者数

1 名

6 配布資料

- (1) 練馬区健康づくりサポートプラン（令和 7 年度～令和 10 年度）について
- (2) 令和 7 年度練馬区食品衛生監視指導計画について

1 開会

○会長 それでは、定刻になりましたので、第 14 期（第 3 回）練馬区健康推進協議会を開会します。

皆様、本日はお忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。
まず初めに、事務局から委員の出席状況等について報告をお願いします。

○事務局

・委員の出席状況について報告

○会長 会議の公開・記録について事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

・会議の公開・記録について説明

○会長 本日の資料について事務局から確認をお願いいたします。

○事務局

・資料確認

2 議題

○会長 それでは、議題に移ります。次第のとおり進めたいと存じますので、よろしくをお願いいたします。本日の議題は 2 件となります。

では、議題（1）「練馬区健康づくりサポートプラン（令和 7 年度～令和 10 年度）について」をお願いいたします。

○健康推進課長

・資料 1-1 および資料 1-2 の説明

○会長 ただいまの説明について委員の皆様方からご質問・ご意見がありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員 ご説明どうもありがとうございました。

私から大きく 2 つ、今後検討していただきたいところも含めて、意見をさせていただきます。私が昨年一般質問もさせていただいたことではあるのですが、16・17 ページ「今日からできる健康づくり」の中に柱 2 「もっと知ろう自分の身体」というところがあります。身体というのは肉体的な身体もありますが、メンタルも身体だなと私は強く思っています。健康診断を年に 1 回受けるように推奨するということですが、できればそのタイミングで 1 年に 1 回は自分のメンタルの状態がどうなのだろうかと知ることすごく重要だと個人的には思っています。柱 6 は「こころの健康づくり」になっていますが、取組を拝見していると、なってからの取組のほうが多いかなと思うので、できるだけ事前に知るために、どんな形でもいいので、できれば健診、歯科健診、メンタル健診みたいな形で進

めていただくといいと思います。この計画は令和 10 年度までのことになるので、今後メンタルという部分はより注目され、大事にされてくるかと思います。ぜひ引き続き検討していただきたいなと思うことが 1 点目です。

もう 1 点が、全般的に計画を拝見していますと、正規分布でいうと、標準偏差とかを見たときにベターのところなのだろうなと思います。しかし世の中には外れ値的な人間も多々いまして、どちらかという、私は結構外れ値的な存在なのかなと思っているのですけれども、ベターなことを言われると、私はちょっと違うとなり、それは不健康ということなのだろうかとか、多分自分に合った健康というものもあるのかなと思います。計画を進めていくときに、そういう方もいて、そういう方のときにはこうしていこう、ということがあるといいなと思っております。例えば 17 ページですと、「早寝・早起き・朝ご飯を習慣にしよう」とあります。それはそうだなと思いつつも、私みたいに夜型の人が頑張ってもなかなか難しいなというところもあり、でも、そのようにしましょうと言われると、「えっ？」と思ってしまう方も実際はいるので、そういう方もその人に合った健康づくりを進めていけるような体制をぜひ取っていただくことを意見として言わせていただければと思います。

○会長 どうもありがとうございました。ご要望とご意見でしたが、区から何かございましたらお願いします。

○健康推進課長 今回 16・17 ページにお示ししたものについては、確かに一般的なもの、特に厚生労働省等の知見など様々なデータの中から一般的に有効とされることについて、広く区民の皆様にご覧いただきたいものとしてまとめています。

ただいま、心の健康というお話を頂きました。心の健康については我々も課題として認識しており、そのため今回の計画では柱立てをして進めさせていただいています。また、昨年度、心の健康に関する計画として「練馬区自殺対策計画」を策定し、様々な取組を進めているところでございます。今お話をいただいたこの健康診断に関しては、区ホームページでチェックリストを案内する等、すでにまとめた計画や今回の計画の柱に基づいた具体的な支援策を進めています。

あともう一点、多様な方がいらっしゃるの、ひとりひとりにあった健康づくりの推進をというお話をいただきました。今回の計画に示したものは全体の方針でございまして、ひとつの方向性ではあるのですが、多様な方がいらっしゃり、それぞれの課題がありますので、そういったことは福祉や健康の窓口にご案内して、様々な支援をさせていただきたく考えています。それぞれの生活スタイルがあり、それに沿って健康にお過ごしいただきたいというのが我々の思いですので、状況に合わせて必要なアドバイスをしながらご相談に乗ってまいりたいと思っております。今のご意見も含めて多様な方の健康づくりを応援してまいりたいと考

えているところです。

○会長 ほかにいかがでしょうか。

○委員 私からは 104 ページからの目標値についてお伺いいたします。令和 10 年度までの目標値を挙げていらっしゃると思いますが、例えば一番初めの運動習慣者の割合、令和 5 年度目標値は 27.5%でした。適正体重者の割合も、令和 5 年度目標値は 70%だったのに対して令和 10 年度は低くなっている。これは実績に基づいて目標値を下げたのかどうか教えてください。

○健康推進課長 指標については、国の計画である「健康日本 21」で示されている目標値を基に設定しているものが多くあります。ただ、それは計画値がもっと先のものになっているので、それを今回の健康づくりサポートプランの計画終了年度である令和 10 年度に換算してお示ししています。目標値をすでに達成している指標については、単に「増加」などという言葉で目標を示し、また、なかなか目標に到達できないものについては、経過を踏まえるような形の計算の仕方で示しているものもあります。基本的には国の指標を基にしつつ、それを参考にしながら、実際に実現可能なものという目線も加味して指標をお示ししています。

○委員 国の指標を参考にしているということについて。練馬区でも実績を調査していると思うのですが、これはあくまでも令和 10 年度の目標値なのであって、令和 10 年度までに毎年調査をして、どのぐらいの達成率かというのは確認していますか。もし確認しているのであれば、その目標をなかなかうまく達成できそうもなければ、そこで何か改善するとかという計画は立てていますでしょうか。

○健康推進課長 指標によってばらつきはありますが、数年に一度実績を確認しているものもあります。本協議会でもご紹介した調査ですが、計画の策定に先立って「練馬区健康実態調査」を実施しており、その結果を基にしている指標もあります。区民の方に毎年調査をかけてデータを取るのには難しい部分があり、そのような形で数値を取っています。指標によっては毎年実績値を確認するものもありますが、区民の意向等については、どこかのタイミングで整理をして数値を取っていきます。次年度以降の本協議会にて、各事業の進捗をご報告し、改善が可能な事業については改善しながら進めてまいります。

○委員 今、ご答弁にありましたものについては定期的に調査をしているということなので、令和 10 年度まで待つのではなくて、しっかりとこの目標に向かってどのように進めているか、また、なかなかこの目標を達成しないようであれば、随時周知方法などいろいろ考えていただきたいと思いますので、その部分について最後聞いて終わりにします。

○健康推進課長 これまでの協議会でもお話しているとおり、改めて数字を見ながら、実際にどういった効果があるかというのは検証し、区民の方が実際に活動しやすい、取り組みやすいような工夫を重ねてまいりたいと考えております。

○会長 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、次の議題に移らせていただきます。議題（２）令和７年度練馬区食品衛生監視指導計画について生活衛生課長から説明をお願いいたします。

○生活衛生課長

・資料２－１、資料２－２、資料２－３の説明

○会長 ただいまの説明について委員の皆様からご質問・ご意見がありましたらお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

○委員 ご説明ありがとうございます。もし分かればで結構なのですけれども、先ほどのサポートプランの説明では、パブリックコメントでこういうのがあったのでこういうのを足しましたという話があったのですけれども、今回の案件の冒頭で、12月～1月に意見を募集しましたというお話があったと思います。そこで出た意見を踏まえて、もともとは計画に入れていなかったけれども、こういうのを入れましたとか、逆にやめましたとか、そういう意見に基づいて計画を変えたところがあれば、ご参考までに教えていただければと思います。

○生活衛生課長 今回パブリックコメントを実施した結果でございますけれども、まずお子様から3件程度ご意見を頂いております。給食の内容の改善要望といった内容でございましたが、そちらについては教育委員会にお伝えをしたところですが、計画自体変更するといったものではございませんでした。そのほか頂いた意見でございますが、計画策定に当たっては、我々は食品衛生推進委員会という会議体を持っておりまして、事業者の代表の方、それから消費生活を支援する方々の代表の方、栄養士の代表の方々が入ってご意見を頂いております。今回頂いたご意見としましては、お肉の加熱をしっかりとしようということをもっと周知していただきたいというご意見を頂きましたが、こちらにつきましては従前どおり行ってございます。手法については、「食品衛生だより」を区内の学校や図書館に配布し、SNS等でも発信してございます。そのほか、区民向けの講演会も実施しております。内容の充実を図るといった方向でございますので、こちらについても計画で変えたところはありませんでした。なお、今回残念ながら一般の大人の方からご意見はなかったと、そういった状況でございます。

○委員 どうもありがとうございます。近年ものすごく、半端でなく夏が暑くて長いということもあって、こういう取組はすごく大事だと思いますので引き続きよろしくお願いいたします。

○会長 どうもありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

○委員 ご説明ありがとうございます。HACCPに準じていろいろ進めていくということでございますけれども、今後練馬区としてデジタル化等々を推進している中で、HACCPに対してのデジタル化とか、AIの利用とか、私たちは食品

衛生協会でも食品衛生指導員等々で巡回をしておりますが、十分でなかったりする場合があるのです。その場合のヒューマンエラーを防ぐような計画や予定などはございますでしょうか。

○生活衛生課長 HACCPの事業者の皆様を取組状況ですけれども、現場の声としてはチェックリストを鉛筆で埋めていくというのがなかなか負担であるとか、忙しいとついつい、例えば従業員の方の体温チェックをうっかり忘れてしまったとか、なかなか大変なので、例えばアプリがあるといいなというお声も頂いているところではございます。一義的には現在、厚生労働省がフォーマットをインターネットでアップしているところではございますけれども、またそういった事業者様の声をもっと頂きながら、東京都や、東京都の食品衛生協会さんと情報交換して何か工夫できることがあるか、探っていきたいと考えております。

○委員 どうもありがとうございます。よろしくお願ひ申し上げます。

○会長 ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

○委員 ありがとうございます。大きく2つ教えていただきたいのですが、1つ目が2ページの4(1)の年間実施予定について、令和7年度の監視指導予定件数が3,000件とあります。こちらは母数が何件中の3,000件なのかということ、また、11ページに年間予定表がありますが、例えば学校給食施設であれば、毎年実施しているのか、飲食店については、今回はそば屋などありますが、パン屋だったら何年に1回巡ってくるのかなど、どういう仕組みで3,000件なのか教えていただいていた方がいいでしょうか。

○生活衛生課長 まず3,000件の母数ですが、現在食品衛生法に基づく許可件数、届出件数は区内およそ8,500程度でございます。こちらを補足しますと、あくまで許可届出の件数でございますので、1店舗につき複数のライセンスを持っているところも一定数ございます。施設数でいうと概算で6,500ぐらいという状況でございます。

巡回でございますけれども、平均して言えば、3年に1回は全部の施設を回れるようにというのが基本的な考えでございます。そのうち、とりわけハイリスクと言ったら語弊があるかもしれませんが、きちんと見なければいけない施設は重点的に毎年見ることになっていきます。具体的には区立の学校であるとか区立保育園であるとかというのは、毎年度必ず行っている状況でございます。

○委員 ありがとうございます。そうすると、必要なところは毎年あって、そうではないところだったとしても3年に1回ぐらいは回ってくるということで、ありがとうございます。

もう1つ伺いたいののが、7ページと8ページにかけてなのですが、例えば7ページの8(1)のイで、出前講習などで「要望に応じて」と書いてあった

り、8ページの(2)のアのところも「要望に応じて」という表現がありまして、こちら、どのぐらい年間要望が実際にあるのかということと、目標数があるのかどうかというところを教えてくださいたいです。

○生活衛生課長 出前講習会等について要望に応じてというところでございますけれども、具体的には例えば高校や大学の文化祭を開催するときには、実行委員の生徒さんと担当される先生が文化祭をやるから、生徒をはじめ教職員を含めて食品衛生の基本を教えてほしいといった要望に応じてやるのが代表的な例かなと考えてございます。そういった講習会の実績につきましては年間10件程度と考えてございます。もう1点、大規模な客席を持っている飲食店の方からは、例えば年末はノロウイルスが心配だから、12月に1回保健所の方が来て従業員全員に講習をやってほしいといった事例もございます。そうした事例を含めて10件程度という状況でございます、これは目標というか、要望に応じて出向くものでございます。

もう1点は、保育園から手洗い教室をやってほしいというオーダーも、これはまた別に10件ほど年間頂いているところでございます。大体年長さんぐらいのクラスから依頼がありまして、ばい菌が出てくる紙芝居を職員がやって、実際に手を洗った状況を見える化する機械がございます。手にクリームを塗ってブルーライトみたいに照らすと汚れが浮き上がる。そういったものをお子様たちに見ていただいて、手洗いの啓発に努めている。このように進めているところです。

○委員 ありがとうございます。要望に応じてというと、10件ぐらいなのかなと思ったのですが、ここの例えば7ページの8(1)アで情報提供することということで、区報だったりホームページだったりいろいろなところに周知されていると思います。実際に講習を受けてみると、「へえ」と思うことはいっぱいあるのかなと思うと、ウに近いのかもしれないですけども、もう少しスケジュール的に学べるのがあってもいいのかなと思います。なかなか忙しくて結局人があまり来ないかもしれないですけども、興味があったら行けるという環境を整えるのも一つかなと。そういうことが結果的に周知とかの人数が増えていくのかなと思ったので、よかったら検討していただければと思います。

○会長 どうもありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

ありがとうございました。本日の案件は以上となります。全体を通してのご質問・ご意見等何かございましたらお伺いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、次回開催について事務局から説明をお願いします。

○事務局

・次回開催日程について説明

3 閉会

○会長 ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして健康推進協議会を閉会いたします。皆さん、ありがとうございました。